



川島地区 社協だより

第19号

発行日：令和3年7月
川島地区社会福祉協議会

新年度の事業・予算決まる

令和三年度の総会を六月に、書面総会で実施し、新年度の事業計画、予算が決まりました。

書面総会は新型コロナウイルス蔓延防止の関係で昨年度に続いての実施です。

事業は、毎年実施している「古希の集い」を始め、「一人暮らし高齢者への配食サービス」や、「ふれあい事業」など。また川島地区の福祉を話し合う「コミュニティー会議」も計画しました。

挨拶



会長 川瀬健士

令和三年度の川島地区会長という大役を拝命しました。にわかごしらえの域を出ない私ですが、一生懸命に務めさせて頂きますので、ご支援のほどよろしく願います。

川島地区社協は「若い人も高齢者もみんなが交流し、心身健康で幸せに

予算は、前に挙げた事業の実施やボランティア団体助成金などで合計百八十一万四千円、前年度より

十三万円五千元の減額です。交付金は四十三万円、

メニュー事業で六十九万四千元見込んでいます。詳しくは別記表のとおりです。



● 昨年の三世代交流(河田町)

暮らせるまち」をめざして活動しております。その中で日頃から、高齢者の集い、三世代ふれあい、近隣ケア、ボランティアハウスなどの活動を支えておられる関係者の皆様には心から感謝申し上げます。

社協の活動は「みんなが交流」をめざしますが、ワクチン接種が始まっていますが、未だ収束しない新型コロナウイルス感染症対策は、「人流抑制」が必要です。今後、計画した事業の中止もあります。早く平穏な生活になり、皆さまと楽しく活動できることを願っています。

◆ 令和3年度予算

単位:円

科目	金額
地区交付金	430,000
メニュー事業助成金	694,000
地区運営費助成金	30,000
寄付金	1,000
雑収入	935
繰越金	658,065
合計	1,814,000

収入の部

支出の部

単位:円

科目	金額
事務費	82,000
近隣ケア研修	30,000
福祉座談会	9,000
ボランティアハウス事業	396,000
ふれあい交流事業	100,000
機関紙発行	100,000
赤い羽根共同募金	250,000
食を通じた支援事業	115,000
福祉の人材発掘事業	10,000
フェスティバル	50,000
助成金支出	147,000
予備費	525,000
合計	1,814,000

● 令和3年度事業計画

月	事業
5月	総会(書面)
6月	役員会
7月	近隣ケア研修
8月	ふれあい事業
9月	地域コミュニティー会議
10月	ふれあい縁日 ボランティア研修
11月	配食サービス
12月	古希の集い
2月	地区社協だより発行
3月	役員会



会費協力のお願い



よく「社協という名前は聞いたことがあるが、どんな事をしてい
るのか分からない。」ということ
を耳にします。

社協は、地域での問題をみんな
で考えようと、各団体が集まっ
ている組織です。

本会では具体的に、一人暮ら
し高齢者に弁当を配付して安否
確認する「配食サービス」や長寿
の節目を祝う「古希の集い」、行
事を通しての「ふれあい事業」、
ボランティアグループに対する
助成などの活動を行っています。
皆さんにご協力いただきました会
費は、一旦市社協に入金され、
その後会費の四〇%が交付金と
して地区社協に入り、あとメ
ニュー事業として実施した分に
対して地区社協へ助成金が入っ
て来ます。

既に回覧等をご覧になられた
と思いますが、趣旨をご理解の
上、会費の協力をお願いします。

やささえあい活動を してみませんか

今年度社協メニュー事業として
「やささえあい活動事業」が設け
られました。

日常のちよつとした困りごと
のお手伝いを、できる時に、できる
ことを、できる人が行う身近な
地域やささえあい活動です。一つの
自治会或いは複数の自治会区
域で地域の方が活動する事業
です(例||ゴミ出し、草ひき、電球
交換等)。一自治会あたり、五千円
の助成、二自治会がまとまれば
一万円の助成金となります。
グループを作って活動してみま
せんか。希望されるグループは
川島地区社協へご連絡ください。
(小島89・2907、脇田89・38867)

今年度の

コミュニティー会議

前回、コミュニティー会議を
開催した時は、「この三年間で
の自分や周囲の変化をテーマ」
としました。…それから三年、
新型コロナウィルスにより
社会情勢が大きく様変わりし、

令和3年度役員



- 会長 川瀬健士
- 副会長 小島豊彦
- 理事 小島祥司 木村徹之
中野正勝 福手弘子
苅谷三敬 小島和則
尾関芳久 青井政博
吉村寛
- 会計 脇田美千広
- 監事 田中京司 川瀬智美
- 福祉推進員
- 評議員 川瀬生身 小島豊彦
安藤順司 杉本直子
原基久 尾関とし子
松尾勇夫 伊藤和夫
脇田芳弘 水野三郎

これまで当たり前にできて
いたことができなくなるなど、
不安が多い世の中となりました。
今年度予定の会議では、
コロナ禍でも実施できることの
立案など地区社協活動を見つめ
直す機会とし計画しています。

◆令和2年度決算

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
地区交付金	347,000	事務費	22,794
メニュー事業助成金	611,072	近隣ケア研修	0
地区運営費助成金	30,000	福祉座談会	0
寄付金	200	ボランティアハウス事業	348,072
雑収入	5	ふれあい交流事業	172,480
繰越金	633,134	機関紙発行	80,000
合計	1,621,411	赤い羽根共同募金	0
		食を通じた支援事業	110,000
		フェスティバル	0
		助成金支出	230,000
		合計	963,346

収支差額 658,065円は次年度へ繰越

- 足立美涼 野田真澄
- 田中正明 中園久義
- 水野香織 平野笑子
- 小野親夫 苅谷啓子
- 小島きよ子 大山貢
- 横浜勝治 鈴木信正
- 苅谷誠 (敬称略)